

新しいマラソン大会の開催準備状況について

1 大会準備委員会の開催状況

新しいマラソン大会の概要等を検討する「新マラソン大会準備委員会」を、次のとおり開催し、各委員の意見を伺いながら検討を進めている。

| 会議 | 開催日 | 議題 |
|----------|------|--------------------|
| 第1回準備委員会 | 5/31 | 準備委員会の設置、検討の方向性の確認 |
| 第2回準備委員会 | 7/30 | コース案、開催日等の大会概要案の検討 |

2 第1回準備委員会の検討内容

第1回準備委員会では、当委員会を設置するとともに、検討の方向性を示し、各委員から次のとおり意見があった。

検討の方向性

- ・ 県民に愛され、誇りに感じられる県を代表するマラソン大会の実現
- ・ 県内外の幅広い世代の参加者によるスポーツ体験
- ・ 美しい滋賀の風景を多くの方に体験いただくことによる本県の魅力発信
- ・ スポーツをする感動を通じた心身の健康増進による「健康しが」の推進

○委員からの主な意見

- ・ 新大会は、びわ湖毎日マラソンのレガシーを引き継ぎ、エリートランナーも市民ランナーも参加できる大会とすることが望ましい。
- ・ 大会開催にあたり、琵琶湖や健康など、マラソン大会の開催に留まらない本県の大きな目標、スポーツの価値を前面に示し、特徴のある大会とすることが望ましい。
- ・ 幅広く参加でき、障害のある方も参加できる大会とすることが望ましい。
- ・ 大会開催により長時間に渡り道路を使用することから、コース沿道等の住民の理解や、道路利用者への事前周知が必要である。

3 第2回準備委員会の検討内容

(1) コース（案）の検討

第2回準備委員会では、大会の開催地域とコース案を検討するとともに、当コース案を基礎とした大会の概要について検討を行った。

ア 開催地域

本県の美しい風景による魅力発信や、幅広い参加者に参加いただくことを念頭に、マラソンシーズンである冬季の気象条件や、公共交通機関の利便性、宿泊施設の確保等を踏まえ、①湖南地域、②湖東・湖北地域、③高島地域それぞれ各地域の比較検討を行った。

①湖南地域（大津～守山地区）

- ・ びわ湖毎日マラソンやレイクサイドマラソンのイメージを引き継ぐコース。
- ・ 琵琶湖沿いの風景は、毎日マラソンの記憶を呼び起こす。
- ・ 会場には、マラソン大会の開催実績を持つ皇子山公園や烏丸半島を使用。

②湖東・湖北地域（彦根～長浜地区）

- ・ 湖東・湖北地域の彦根城や長浜城など歴史的景観を生かしたコース。
- ・ 歴史的景観と竹生島を望む広大な琵琶湖の風景は、本県の魅力発信に最適。
- ・ 会場には、各種イベントで使用される金亀公園や豊公園を使用。

③高島地域（高島地区）

- ・ 湖西地域の豊かな自然の下で行うコース。
- ・ 今津付近の琵琶湖の景色に加え、メタセコイア並木など、琵琶湖に留まらない本県の魅力を発信。
- ・ 会場には、ハーフマラソンの開催実績があるマキノピックランドを使用。

【検討結果】

比較検討したところ、湖南地域は、他の地域と比較して、冬季の気象が温暖であり、参加者の参集に影響する公共交通機関の利便性が高いことや、宿泊施設の確保が比較的容易なものと考えられる。

上記の検討内容から、次の開催地域で準備を進めることとする。

湖南地域（大津～守山地区）

イ コース（案）

湖南地域でコース案を作成することとし、作成にあたっては、次の事項を踏まえ、今後、関係機関と調整を行う。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">① 日本陸連公認コース・公認大会で、参加者が安全に競技できること② 「びわ湖毎日マラソン」のイメージを引き継ぎ、同大会が担ってきた美しい景色による滋賀の魅力発信や、「びわ湖レイクサイドマラソン」の開催趣旨である環境意識の高揚を図ることができること③ 交通規制による影響を最小限に抑えること④ スタート地点、フィニッシュ地点に多数の参加者に対応できる会場設営ができること |
|---|

○委員からの主な意見

- ・ びわ湖毎日マラソンのイメージを大切にしてほしい。
- ・ びわ湖毎日マラソンのレガシーを引き継ぐには、湖南地域が望ましい。
- ・ エリートランナー、市民ランナー、障害者が幅広く参加できるコースがよい。
- ・ コース沿道の施設等との十分な調整が必要。

(2) 大会概要（案）の検討

大会概要（案）については、今後、コース作成も踏まえつつ、さらに詳細を検討する。

ア 大会開催日

- ・ びわ湖毎日マラソンとびわ湖レイクサイドマラソンの開催時期であり、マラソンに最適とされる冬季（2月下旬～3月上旬）に開催
- ・ 2月第3週開催の京都マラソンや、2月第4週開催の大阪マラソンなど近隣府県の大会や、県内の主要なマラソン大会との同一日開催を回避

| |
|----------------------------|
| 開催予定日：令和5年3月12日（日）（3月第2日曜） |
|----------------------------|

イ 開催種目

- ・ 新マラソン大会は、びわ湖毎日マラソンを引き継ぐ大会
- ・ 本県のマラソン大会にフルマラソン大会が少なく、県を代表するフルマラソン大会の開催。
- ・ ハーフマラソン等の他種目の実施は、交通規制時間の長時間化等の課題があり、フルマラソンをメイン種目として開催。
- ・ ファンランは、ランニング教室の開催などイベントでの代替を含め検討

| |
|--|
| 開催種目：フルマラソン（登録の部、一般の部） （ファンランは、イベントでの代替を含め検討） |
|--|

なお、視覚障害者や聴覚障害者も安心して参加できるよう配慮を行う。

ウ 参加定員

- ・ 想定されるコースの幅員や、他の大会のランナーの混雑状況を踏まえ検討
- ・ 混雑による事故を防止し、参加者の安心安全を確保
- ・ コースの作成と並行して今後、改めて精査

参加定員：10,000人程度
(初回は7,000人～8,000人程度)
※今後、コース作成と並行して精査

エ 制限時間

- ・ 幅広い参加者が参加できるように、可能な範囲で制限時間を長く設定
- ・ 交通規制は、周辺交通等への影響を最小限に抑制
- ・ 初級者でも一定の練習を積めば完走可能な制限時間は6時間程度

制限時間：6時間

オ 参加料

- ・ 近隣府県等のマラソン大会の参加料を参考に、大会の収支見込みを踏まえ設定
- ・ 新型コロナウイルスの影響もあり、最近では、参加料は値上がり傾向
- ・ 参加料は、大会開催費用の精査と並行して検討

参加料：大会の開催費用の精査と並行して検討

○委員からの主な意見

- ・ コースの検討にあたっては、通過する地元自治体の意見を伺うとよい。また、スタート地点やフィニッシュ地点の施設管理者と事前に調整すること。
- ・ 大会の技術的な検討と並行し、大会のコンセプトを定め、めざすべき姿を示すべき。

4 今後の予定(案)

令和3年10月 コースの決定など大会概要の決定
令和3年12月 大会実施計画の策定
令和4年1月 大会実行委員会の設置
令和4年7月 参加者募集開始
令和5年3月 新マラソン大会開催

参考資料

1 全国主要マラソン大会の開催日（2月下旬から3月上旬）

| | 大会名 | 開催市 | 開催日 | 種目・定員 |
|----|--------------|--------------|------|--|
| 1 | 湘南国際マラソン | 神奈川県 大磯町他 | 2月3週 | ・マラソン 18,000人 |
| 2 | 京都マラソン | 京都府 京都市 | 2月3週 | ・マラソン 16,000人 ・ペア駅伝 200組400人 ・車いす 20人 |
| 3 | KIX泉州国際マラソン | 大阪府 堺市他 | 2月3週 | ・マラソン 5,000人 ・チャレンジラン 1,000人 |
| 4 | 高知龍馬マラソン | 高知県 高知市 | 2月3週 | ・マラソン 10,000人 ・ファンラン 500人 |
| 5 | 北九州マラソン | 福岡県 北九州市 | 2月3週 | ・マラソン 11,000人 ・ペアリレー 150組300人 ・ファンラン 1,000人 ・キッズマラソン 300名 ・親子マラソン 100組200名 |
| 6 | 熊本城マラソン | 熊本県 熊本市 | 2月3週 | ・マラソン 13,000人 ・30km 150人 ・ファンラン 1,500人 |
| 7 | おきなわマラソン | 沖縄県 那覇市 | 2月3週 | ・マラソン 13,500人 ・10km 3,000人 |
| 8 | 大阪マラソン | 大阪府 大阪市 | 2月4週 | ・マラソン 35,000人 ・車いす 30人 |
| 9 | 姫路城マラソン | 兵庫県 姫路市 | 2月4週 | ・マラソン 7,000人 ・ファンラン 合計5,000人 |
| 10 | 東京マラソン | 東京都 | 3月1週 | ・マラソン 24,700人（従来37,500人） ・10km（10.7km）300人（従来500人） |
| 11 | 丹羽篠山ABCマラソン | 兵庫県 丹羽篠山市 | 3月1週 | ・マラソン 10,000人 |
| 12 | 鹿児島マラソン | 鹿児島県 鹿児島市 | 3月1週 | ・マラソン 10,000人 ・ファンラン 2,500人 |
| 13 | 静岡マラソン | 静岡県 静岡市 | 3月2週 | ・マラソン 12,000人 ・ファンラン11.6km 1,200人 ・小学生の部1.6km 600人 |
| 14 | 名古屋ウィメンズマラソン | 愛知県 名古屋市 | 3月2週 | ・マラソン 11,000人（従来22,000人） ・ハーフマラソン 9,000人 |

2 県内主要マラソン大会の開催日

| | 大会名 | 開催市 | 開催日 | 種目・定員 |
|---|-------------------|-----|-------|--|
| 1 | 奥びわ湖健康マラソン | 長浜市 | 5月3週 | ・15km 2,000人 ・5km 定員なし ・1.5km 定員なし |
| 2 | 余呉湖健康マラソン | 長浜市 | 10月1週 | ・14km ・7km ・2km 各種目計1,500人 |
| 3 | 長浜市あざいお市マラソン | 長浜市 | 10月2週 | ・ハーフ 4,000人 ・10km 1,500人 ・3km 定員なし |
| 4 | びわ湖高島栗マラソン | 高島市 | 10月4週 | ・ハーフ ・クォーター ・2km 各種目計2,800人 |
| 5 | あいの土山マラソン | 甲賀市 | 11月1週 | ・フル（公認） ・ハーフ（公認） 各種目計4,200人 |
| 6 | 彦根シティマラソン | 彦根市 | 11月2週 | ・10km 1,200人 ・5km 400人 ・3km 600人 |
| 7 | ほたるのまち守山ハーフマラソン大会 | 守山市 | 12月2週 | ・ハーフ 1,000人 ・10km 500人 |